

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所アルピナ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 7日 ～ 2025年 2月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日 ～ 2025年 2月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフのチーム力	・スタッフ一人ひとりが明るく、「今日も楽しかった！」 「みんなに会えてよかった！」と利用者・スタッフ相互に感じられる場となるよう、丁寧に、楽しく支援に当たっています。 ・暮会や随時ミーティングを設け、一斉に情報共有が出来るよう心掛けています。	・引き続き今の取り組みを継続していくことが大切だと考えます。 ・勉強会やケース会議等の機会を定期的にもちながら、質の高い支援ができるよう取り組んでいきます。
2	・活動内容の取り組みが豊富	・マンネリ化しないよう、『ワクワクを更新』を目標にしながら、個性とニーズに合わせた活動を計画しています。 ・季節行事を大切にしています。	・担当スタッフ任せにせず、スタッフ全員で一つの行事が安全に完結できるよう、これからも話し合いを重ねながら取り組んでいきます。

3	・家庭的で安心できる雰囲気	・利用者だけでなく、ご家族にも明るく丁寧な対応を心掛けています。 ・利用者ご本人やご家族の気持ちに寄り添い、思いを共有できるよう送迎時など、お話ができる機会を大切にしています。	・それぞれの想いに寄り添い、アルピナで笑顔が増える支援が行えるよう取り組んでいく事が大切だと考えます。
---	---------------	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との繋がり	・個別の支援に重きを置いているので、地域とのかかわりを深めていく取り組みは行えていません。	・医療的ケアをはじめ、個別対応が必須なケースが多く、地域の中でどのように生活していくか、社会とどのようにつなげていくかは、優先順位として低い状況です。災害時の対応など、地域連携をどのように展開していくか、出来ることから考えていきたいと思います。
2	・ご家族のニーズに十分な対応が出来ていない	・スタッフ不足により、入浴支援が行えていません。また、休学日の利用時の送迎をご家族にお願いしています。	・入浴や送迎など、ご家族のご希望に添え切れていないことは十分理解しております。最大限の工夫と人員補充を行い、利用されているご本人、ご家族にとって意義のある支援が展開できるよう取り組んでまいります。
3	・ホームページやSNSなど、インターネットを利用した情報発信の強化	・ネットワーク関係の環境が整っていなかったり、扱いに不慣れなスタッフが多いため、積極的な導入、運用に至っていません。	・「紙媒体がいい」と思われるご家族もいらっしゃいますが、幅広く情報発信するのであれば、安全に活用できるよう、研修も必要かと考えています。